

平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結）  
（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

平成16年2月10日

上場会社名 東海旅客鉄道株式会社 （コード番号：9022 東証、大証、名証各第1部）  
（URL http://jr-central.co.jp）  
代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 葛西 敬之  
問合せ先責任者 役職名 広報部長 氏名 宇野 護 TEL (052) 564-2549

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における 中間連結財務諸表作成基準に準拠して作成  
認識の方法との相違の有無  
連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 連結（除外）1社

2. 平成16年3月期第3四半期の業績概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	1,037,782	290,104	124,272	69,959
15年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)15年3月期	1,363,034	341,416	103,749	49,085

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第3四半期	31,258.90	-
15年3月期第3四半期	-	-
(参考)15年3月期	21,801.76	-

(注) 会計処理の方法の変更 有（新幹線施設に係る取替資産の減価償却方法を取替法から定額法に変更）  
15年3月期第3四半期については数値を作成していないため、記載を省略しています。（2）も同様）

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第3四半期	5,566,691	759,837	13.6	339,508.62
15年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)15年3月期	5,578,594	694,156	12.4	310,030.38

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	287,198	114,661	109,073	141,260
15年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)15年3月期	382,998	168,966	207,851	77,669

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	1,371,600	119,400	67,200	30,026.11

(注) 実際の業績は今後の経済情勢等によって業績予想と異なる場合があります。なお、上記業績予想は中間決算時発表の数値に対し、その後の3ヶ月間の当社の運輸収入及び連結会社の特別利益・損失の実績を反映したものとします。

[ 添付資料 ]

## 第3 四半期業績の概況

当期（平成15年4月1日から12月31日までの9ヶ月間）における業績について、主な特徴は以下の通りです。

### （1）経営成績

#### 鉄道部門

- ・東海道新幹線については、平成15年10月1日、品川駅の開業及び全列車270km/h運転による抜本的なダイヤ改正を実施し、輸送サービスの飛躍的向上を実現しました。
- ・同時に、主力となった「のぞみ」を一層ご利用いただきやすくするため、料金・商品体系についても全面的に見直しを行い、「のぞみ」指定席特急料金を値下げするとともに、新たに「ひかり」「こだま」の自由席特急料金と同額でご利用いただける自由席を設定しました。
- ・加えて、「エクスプレス予約」による「e特急券」を使いやすさと価格の両面で最も有利としたほか、「新幹線回数券」の新設等により商品体系を整備しました。加えて、50歳以上のお客様を対象にした会員組織「JR東海50+（フィフティ・プラス）」を発足させ、新たな旅行需要の創出に努めました。
- ・この新ダイヤはご好評をいただいております。お客様のニーズにお応えするため臨時「のぞみ」の追加運転を実施するなど順調にスタートしています。この結果、新幹線の輸送人キロは10月からの3ヶ月間では前年同期比102.2%となり、当期では同100.9%となりました。
- ・在来線については、特急列車のご利用が低調であったものの、名古屋都市圏でのご利用状況は堅調に推移したことから、輸送人キロは前年同期比100.4%となりました。

#### その他の部門

- ・「ジェイアール名古屋タカシマヤ」については、引き続き平成15年2月の大幅な売場改装の効果があったことなどにより、売上高は前年同期比108.5%と好調に推移しました。
- ・岐阜駅に平成15年11月に「アスティ岐阜」を全面オープンさせたほか、名古屋駅広小路口における商業施設のリニューアル計画を進めるなど、引き続き駅立地の有効活用に取り組みました。
- ・保有資産の高度利用や効率的活用の観点から、名古屋市及び静岡市における社宅の統廃合により生み出した用地の開発計画や、新横浜駅ビル開発の具体的検討を進めました。

これらの結果、当期の営業収益は1兆377億円、経常利益は1,242億円、当期純利益は699億円となりました。

### （2）財政状態

当期において、社債発行及び長期借入による調達を500億円実施した一方、鉄道施設購入長期未払金及び長期借入金を1,353億円返済しました。

### ( 3 ) 要約連結財務諸表

#### 要約連結貸借対照表

(単位 百万円)

区 分	当第3四半期末 (平成15年12月31日現在)	[参考] 前連結会計年度 (平成15年 3月31日現在)
	金 額	金 額
( 資 産 の 部 )		
流 動 資 産		
1. 現 金 ・ 預 金	137,151	77,700
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金	20,679	22,535
3. 未 収 運 賃	25,069	14,017
4. そ の 他 の 流 動 資 産	61,568	57,710
流 動 資 産 合 計	244,468	171,963
固 定 資 産		
1. 有 形 固 定 資 産	5,071,655	5,168,652
2. 無 形 固 定 資 産	38,836	35,198
3. 投 資 そ の 他 の 資 産	211,731	202,780
固 定 資 産 合 計	5,322,223	5,406,631
資 産 合 計	5,566,691	5,578,594
( 負 債 の 部 )		
流 動 負 債		
1. 支 払 手 形 及 び 買 掛 金	35,608	40,903
2. 1 年 内 返 済 長 期 借 入 金	40,464	41,485
3. 1 年 内 に 支 払 う 鉄 道 施 設 購 入 長 期 未 払 金	183,680	183,015
4. そ の 他 の 流 動 負 債	259,128	264,689
流 動 負 債 合 計	518,882	530,093
固 定 負 債		
1. 社 債	275,000	240,000
2. 長 期 借 入 金	696,937	708,364
3. 鉄 道 施 設 購 入 長 期 未 払 金	2,965,071	3,073,608
4. そ の 他 の 固 定 負 債	339,023	321,613
固 定 負 債 合 計	4,276,032	4,343,586
負 債 合 計	4,794,914	4,873,680
( 少 数 株 主 持 分 )		
少 数 株 主 持 分	11,939	10,757
( 資 本 の 部 )		
資 本 金	112,000	112,000
資 本 剰 余 金	53,500	53,500
利 益 剰 余 金	587,855	529,388
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	7,403	188
自 己 株 式	921	921
資 本 合 計	759,837	694,156
負 債 、 少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	5,566,691	5,578,594

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 要約連結損益計算書

(単位 百万円)

区 分	当第3四半期	[参考] 前連結会計年度
	(自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	(自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)
	金 額	金 額
営 業 収 益	1,037,782	1,363,034
営 業 費	747,677	1,021,617
1. 運輸業等営業費及び売上原価	624,241	842,907
2. 販売費及び一般管理費	123,436	178,710
営 業 利 益	290,104	341,416
営 業 外 収 益	2,377	5,796
1. 受取利息及び配当金	534	584
2. その他の営業外収益	1,842	5,211
営 業 外 費 用	168,209	243,463
1. 支 払 利 息	20,748	27,799
2. 鉄道施設購入長期未払金利息	125,528	179,615
3. その他の営業外費用	21,932	36,048
経 常 利 益	124,272	103,749
特 別 利 益	2,960	22,036
特 別 損 失	7,278	17,822
税金等調整前当期純利益	119,953	107,963
法人税、住民税及び事業税	48,206	67,175
法人税等調整額	579	10,061
少数株主利益	1,208	1,764
当 期 純 利 益	69,959	49,085

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

区 分	当第3四半期	[参考] 前連結会計年度
	(自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	(自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	287,198	382,998
投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 有形・無形固定資産の取得による支出	124,719	181,827
2. その他 (純額)	10,058	12,860
投資活動によるキャッシュ・フロー	114,661	168,966
財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 社債発行・長期借入による収入	50,000	101,000
2. 長期債務の返済による支出	135,320	278,058
3. その他 (純額)	23,752	30,793
財務活動によるキャッシュ・フロー	109,073	207,851
現金及び現金同等物の増加額	63,463	6,181
現金及び現金同等物の期首残高	77,669	71,488
連結子会社による非連結子会社の合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	127	-
現金及び現金同等物の期末残高	141,260	77,669

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

## セグメント情報

### 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期（自 平成15年4月1日 至 平成15年12月31日）

（単位 百万円）

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	840,139	126,295	29,144	42,202	1,037,782	-	1,037,782
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,289	5,115	12,908	51,578	77,892	( 77,892)	-
計	848,429	131,411	42,052	93,780	1,115,674	( 77,892)	1,037,782
営 業 費 用	574,463	127,098	32,096	91,794	825,452	( 77,774)	747,677
営 業 利 益	273,965	4,313	9,956	1,986	290,221	( 117)	290,104

（参考） 前連結会計年度（自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日）

（単位 百万円）

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,096,861	165,647	36,238	64,286	1,363,034	-	1,363,034
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,146	10,229	17,039	64,195	102,610	( 102,610)	-
計	1,108,008	175,876	53,278	128,481	1,465,645	( 102,610)	1,363,034
営 業 費 用	785,672	170,687	42,737	124,712	1,123,808	( 102,191)	1,021,617
営 業 利 益	322,336	5,189	10,541	3,769	341,836	( 419)	341,416

要約（個別）貸借対照表

（単位 百万円）

区 分	当第3四半期末 (平成15年12月31日現在)	[参考] 前事業年度 (平成15年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	200,153	106,308
固定資産	5,191,448	5,269,708
資産合計	5,391,601	5,376,017
(負債の部)		
流動負債	500,890	486,716
固定負債	4,138,322	4,198,434
負債合計	4,639,212	4,685,150
(資本の部)		
資本金	112,000	112,000
資本剰余金	53,500	53,500
利益剰余金	579,966	525,652
その他有価証券評価差額金	6,921	286
資本合計	752,388	690,866
負債及び資本合計	5,391,601	5,376,017

要約（個別）損益計算書

（単位 百万円）

区 分	当第3四半期 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年12月31日〕	[参考] 前事業年度 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成15年3月31日〕
営業収益	850,214	1,109,344
営業費	573,636	784,618
営業利益	276,577	324,726
営業外収益	2,300	5,430
営業外費用	165,222	239,436
経常利益	113,656	90,719
特別利益	2,610	21,370
特別損失	5,800	15,471
税引前当期純利益	110,465	96,618
法人税、住民税及び事業税	44,360	63,672
法人税等調整額	298	10,248
当期純利益	65,806	43,194

平成16年3月期の（個別）業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	1,118,100	108,100	64,000	28,571.43

（注）実際の業績は今後の経済情勢等によって業績予想と異なる場合があります。なお、上記業績予想は中間決算時発表の数値に対し、その後の3ヶ月間の運輸収入及び特別利益・損失の実績を反映したものといたします。

## 〔別紙2〕

## 旅客輸送人キロおよび旅客運輸収入の比較（JR東海）

（単位 百万人キロ、億円）

			( ) 平成14年 4～12月累計	平成15年 4～12月累計	前期比 (%)	(参考) 10～12月3ヶ月間の実績	
						前期比 (%)	
旅客 輸 送 人 キ ロ	新 幹 線	定期	828	828	100.0	266	100.8
		定期外	29,392	29,653	100.9	10,115	102.2
		合計	30,220	30,482	100.9	10,381	102.2
	在 来 線	定期	3,904	3,952	101.2	1,274	100.7
		定期外	2,894	2,876	99.4	945	99.5
		合計	6,798	6,828	100.4	2,219	100.2
	合 計	定期	4,732	4,781	101.0	1,540	100.7
		定期外	32,286	32,529	100.8	11,060	102.0
		合計	37,019	37,310	100.8	12,600	101.8
旅客 運 輸 収 入	新 幹 線	定期	100	100	100.0	33	100.6
		定期外	7,055	7,132	101.1	2,448	102.4
		合計	7,156	7,232	101.1	2,481	102.4
	在 来 線	定期	245	246	100.5	81	100.6
		定期外	560	554	98.8	182	99.1
		合計	806	801	99.4	264	99.5
	合 計	定期	345	347	100.4	114	100.6
		定期外	7,616	7,686	100.9	2,630	102.1
		合計	7,962	8,034	100.9	2,745	102.1
	小荷物運賃・料金		1	1	146.5	0	-
	合計		7,964	8,036	100.9	2,746	102.1

( ) 平成14年4～12月累計の旅客輸送人キロ及び旅客運輸収入は参考値

(注) 1. 旅客輸送人キロは単位未満端数四捨五入

2. 旅客運輸収入は単位未満端数切捨